

SSKA 東腎協

97年1月25日

No.116

東京都腎臓病患者連絡協議会（東腎協）
事務局・☎171

郵便振替口座 00150-0-128390

☎ FAX

昭和四十六年八月七日第三種郵便物認可
SSKA増刊号同二七六三号（毎月六回）の日、日発行
一九九七年一月十五日発行



渋谷区・原宿（写真・榎永照也）

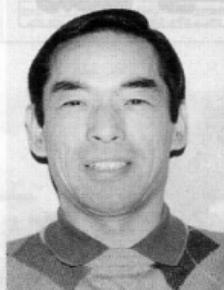
●おまな記事●

- | | |
|---------------------|------------------------|
| ○年頭のご挨拶……………2 | ○会員さん訪問〈62〉増田浩子さん……14 |
| ○伊豆大島に待望の透析施設……………3 | ○大きく後退する医療保険制度……………20 |
| ○竹田文夫会長さようなら……………6 | ○ちょっとチェック医療生活情報……………22 |
| ○東腎協活動のまど……………10 | ○私のふるさと〉20〈尾沼敬三……………24 |

平成9年 年頭のご挨拶

前進のステップにしたい

東腎協会長代行 糸賀 久夫



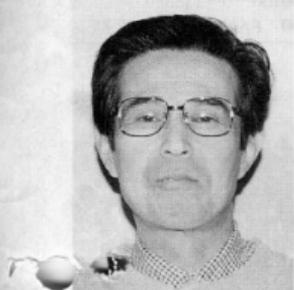
新年あけましておめでとございます。皆様方におかれましては、希望に満ちた新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

日頃より、東腎協の活動に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年には、東腎協結成二十五周年の記念すべき年にあたります。今日の東腎協は、病をおして活動に参加された多くの会員の皆様と、ご家族の献身的な活動の積み重ねによって築きあげられたものです。このような四半世紀に亘る活動の総括をして、さらに前進のステップにしたいと思っております。私達をとりまく環境は、医療保険制度改革、公的介護保険、消費

税5%実施など厳しい状況にあります。特に、医療保険制度改革による負担増は、難病患者にとつて深刻です。安心して医療が受けられるよう、他の難病の皆様と一緒に、この改革に反対していきましょう。同時に、都民の皆様と共に活動していくことが、難病患者へのより一層の理解を深めるうえで大切なことだと思います。どうか本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

「生活の質」を維持する瀬戸際

東腎協事務局長 森 義昭



会員の皆様新年明けましておめでとうございます。

古来、一年の計は元旦にありと申します。皆さんも新年を迎えるに当たり、いろいろとこの一年に思いを巡らせたことと存じます。

東腎協は今年十一

月、結成二十五周年を迎えます。この間の透析医療の詳しい経過は別の機会に譲るとして、今の透析は肉体的にも経済的にも本当に楽になりました。しかし、透析のみならず日本の医療をめぐるのは大変厳しい時代を迎えています。昨年暮に発表された来年度予算政府案では、財政難を理由として医療保険に大幅な自己負担化が盛り込まれています。

一方、透析医療費は、すでに医療費の削減策を先取りする形で実質定額制が導入されており、多くの施設で透析液の流量を減量する

などの合理化が行われています。これ以上透析医療費を引き下げられれば、それは透析患者の余命を縮めることにつながりかねません。全腎協の二十五周年記念講演の能勢先生の言葉にもあるように、今の透析医療は、私たちの「生活の質」を維持できるかどうかのまさに瀬戸際と言える状況なので

す。新年早々大変厳しい話ですが、会員一人一人が自分自身の問題として今の状況を認識し、考え、行動していかなければなりません。この一年ともに頑張りましょう。

伊豆大島に待望の透析施設

昨年10月にオー・ブン

都庁要請の度に、繰り返しお願
いしてきた離島における透析施設
が一九九四年の、神津島を皮切りに、
大島においても実現の運びとな
りました。開設の大きな推進力
となったのは日本医科大学、腎臓
内科部長、飯野靖彦助教のご努
力の賜物であり、そのお力添えの
一端を執筆していただきました。

透析患者一人の悩みは全体の悩み
として、取り組んで活動してきた
私たちが会員の運動にご理解をいた



飯野 靖彦先生

透析希望は十人以上の方か
らあり、一人一人と面談あ
るいは電話でお話しをさせ
ていただき、初めは安定し
ている二人の方の透析治療
を計画しました。

だき、ありがとうございます。
また関係医療機関の方々のご協力
も感謝に堪えません。離島の仲間

伊豆大島の透析開設によせて

日本医科大学腎臓内科部長(第二内科助教) 飯野 靖彦

一九九六年十月四日の金曜日は
大島での血液透析開始の記念すべ
き日です。前日から泊り込んで万
全を期していましたが、やはりス
タッフは少し緊張さみでした。

が自宅から通院して透析を受けら
れるようになったことは画期的な
出来事といえます。

この日は島シヨの医療に献身的
な努力をしておられる東京都の市
井課長、都立大久保病院の福田先
生、看護婦教育や技士派遣を快く
引き受けていただいた三軒茶屋病
院の大坪先生、大島の清水町長は
じめ町議会議員の方々が見学に来
られ透析室は満員状態でした。患
者さんに緊張させてしまいご迷惑
をかけてしまったと反省していま
す。

(自治医大助教)の穿刺
で順調に透析が開始され、
二人の方が血液透析を無事
受けられました。大島での

すでに二カ月以上問題なく経過
し、患者さんも少しずつ増加して
おり(十二月で、すでに五人にな
り)月金はダブルでやっています
)、安心して大島での血液透析

が受けられるようになったと思っ
ています。私も一週おきに、飛行
機で透析室を尋ねて患者さんの状
態やスタッフの心配事の相談にの
つています。その他、電話でなる
べく連絡をとり、事故のないよう
にと万全を期しています。

大島での血液透析は割合と順調
にスタートしましたが、これは患
者さんと東腎協の地道な努力と町
役場、都医療対策課の意欲が元
なっていますが、さらに特筆すべ
きことは神津島での血液透析がひ
とつのブレイクポイントになった
のではないかと考えております。

二年前の一九九四年七月二十五
日から、神津島で一人の女性の血
液透析が開始されております。こ
主人と二人のお子さんがいらっし
やり、東京での透析導入後、数カ
月以上、家族と離れ離れになり悩
んでおられました。たまたま患者
さんの家族の方をわたくしが治療
していた関係で、そのことを知
り、何とかできるのではないかと
考え、市井課長に相談し、神津島
の山下村長や村の職員の努力もあ
り、診療所の一室を借りて血液透
析をスタートしました。

スタート時点では不安のためか

反対意見も多く、スタートまでに計画から九カ月以上、かかってしまいました。しかし、反対する方の意見も、もつともなところがあり、誠意をもって進めてきました。また、神田の岩本町クリニック（日本医大関連）の協力でスタッフの教育研修を行いました。現在は神津島で三人の透析治療を行っております。月に一回、調布から九人乗りの飛行機で回診に行っております（初めは毎週飛んでいました）。神津島では看護婦さんも懸命に努力していただき、また

課長さんを初め多くの方が協力して現在では安定して血液透析を行っております。

すでに日本の透析患者数は十五万人を超え、伊豆諸島でも多くの腎不全患者さんがいらしゃいます。その方々は東京あるいは下田などへ移住し、島で生活できない状態です。すでに透析医療は米国では、どこでも施行できる医療であり、医療先進国の日本の島でできないはずはないのです。あとは意欲と協力が必要なだけだと思います。特に血液透析は医者のかかわるところよりも、看護婦さんや技士の役割が重要であり、島

での血液透析は連絡を密にとれば問題は少ないと考えられます。最近では家庭透析も否定されるような日本の状況であり、腹膜透析（CAPD）か血液透析施設を島に持つべきではないでしょうか。

小生も透析医療に携わってからすでに二十数年が経ちます。医者になって初々しくも社会に役立ちたいという心に戻り、微力ながら努力したいと思っています。

大島町透析室訪問記

常任幹事・小田原庸吉

大島初の透析施設が開設され、東腎協渉外部・鈴木（啓市）常任幹事、浅岡常任幹事が東京都を訪問し、担当課の係の職員にお願いし、現地大島町役場との調整をしていたことが、大島への訪問取材を行うことができました。

十一月二十九日、森事務局長と小田原常任幹事の二人がこの新しい透析施設を訪問致しました。羽田から三〇分のフライトで暖かい大島へ、空港から車で七七八分の北部診療所に到着、意外に近く、且つ、元町、岡田の両町を結ぶ幹線道路、面する好立地にありま

白壁の潇洒な診療所の横に、建増しされた透析室棟があり、渡り廊下で本院と結ばれています。とても新しく清潔で、申し分のない環境です。

透析機（東レ製）は四台、ベッドで個別にテレビが備え、あり、食事は各自お弁当持参、運営は当面月、水、金の週三日、訪ねた日（金）は三人の方が透析中で、皆さんは、つい最近まで東京で透析されていた訳で、島で出来るようになりとても嬉しいと笑顔で話されていました。十二月からまた二人増え五人になるそうです。島の反対側の差木地という所から通院している方が車で三十分かかり一番遠いようですが、それでも島で出来る幸せをかみ締めている様子でした。

この透析施設オープンに尽力された医療側の日本医科大学、腎臓内科部長飯野靖彦助教授と、行政側の大島町保健衛生課の小島孝吉課長と川島伊勢男主幹の皆さんにお話しを伺いました。飯野先生とは偶然にフライトから一緒にになり、ご苦心の程をいろいろ聞かせて頂きました。スタッフを如何に安定的に確保

するかが最も苦心するところ

で、島と云うハ

ンディを克服す

ることの難しさ

は、スタートし

た今も続いてお

臨床工学士の

定着は未だ目処

が立たず、当面、兼任、応援、アル

バイトなどで人繰りせざるを得

ないとの問題点も率直に話され、

東腎協に対しても、臨床工学士

を探して欲しいとの協力要請があ

りました。看護婦さんも既存の診

療所から派遣、交代で透析医療技

術を習得しながら担当して下さい

ている由、本当に一生懸命に取り

組んでいる様子がお見えました。

飯野先生はとも気さくで優し

く、しかも情熱を秘めた素晴らしい

いお人柄、神津島での新設にも貢

献され、八丈島も来年度設置に向

けご尽力の最中で、信頼を一身に

集めご活躍中です。

町役場の川島さんも、今後の運

営について熱く語ってくれました。小島課長は静かな口調で、

現状の問題点などにつき率直な話





ナース 澤田 井野先生 飯野先生 上から
木村 佐々木 渡辺 渡辺 下から

を聞かせてくれ、なおかつ、私たちの空港の行き帰りを車で送って下さり、恐縮いたしました。

なお、早速患者会の結成をお願いしました。皆さん早く東腎協加盟を約束してくださいました。白井さん、秋田さん、小池さん、十二月から通院の鈴木さんどうぞお元気で過ごして下さい。

看護婦の井澤さん、小川さん（看護士）、技士の渡辺さんと佐々木さん、この度はお世話になりました。新しい島でのお勤めはご苦労が多いと思いますが、皆さんを頼りにしている患者さんのため、どうか尽力下さい。

穏やかな三原山の稜線に、溶岩の黒いまだら模様も痛々しく、自

然の驚異を秘めながら、大島の晩秋はのどかで静かでした。午後一時過ぎの飛行機でトンボ返り、後ろ髪をひかれながら機上の人となりました。皆さんお元気で、頑張ってくださいね。

伊豆大島における透析医療開始までの経過

東腎協事務局長 森 義昭

伊豆の島々の患者さんは、これまで島に透析施設がなかったため、東京や近隣県に単身、あるいは家族ともども移住しなければならませんでした。

治療のためとはいえ、故郷を離れなければならない患者さんたちは精神的にも、肉体的にも、そして経済的にも大変な負担を強いられてきました。

このような厳しい条件の中で生活していた大島出身の患者さんから、「なんとか島で透析ができるように運動して欲しい」という切実な訴えがあったのは一九七八年のことでした。

東腎協では全腎協とも協力して、国や東京都にこうした窮状を訴えるとともに、一九八〇年には故石川勇吉事務局長（当時）を大

島に派遣するなど活発な活動を展開してきました。

しかし、当時はまだ透析治療は特殊な医療という認識で、一般医療もままならない島しょ医療の中で、医療スタッフの確保難などさまざまな困難な問題もあり、島の行政としても手のつけられない状況が続いていました。

こうした中で東腎協は毎年の対都要請などで、患者の立場から早急に伊豆の島々でも透析治療が受けられるようにしてほしい旨、要望してきました。

透析も普及し、今や国民一人一人に一人が透析患者という現実の中で、平成五年策定の「東京都保健医療計画」の中でも島しょにおける透析医療の確保を課題として取り上げるなど、透析実施への気運が高まってきました。

こうした状況の中で一九九四年七月、日本医科大学の飯野靖彦先生の強力な指導と、東京都ならびに地元行政の努力で島しょにおける透析の先駆として、神津島での実施が実現したのです。

また、本年十月からは伊豆を代表する大島でも透析治療が開始され、長い長い東腎協の運動もよう

やく目的を達しつつあります。

今回大島を訪問する機会を与えられ、常任幹事の小田原さんと島しょ透析の実状を取材してきました。

往路の飛行機でこいつしよした飯野先生や大島町の小高課長さん、川島主幹さんにもいろいろお話を伺いました。医療スタッフ、特に臨床工学技士の確保について大変ご苦労の様子でした。

これから島における透析を軌道に乗せるまで、先生をはじめとする医療スタッフ、東京都、大島町役場の方々などのご苦労は多いと思います。

それでも、当日透析を行っていた三人の患者さんの嬉しそうな様子に、この運動ができて本当に良かったと感じてきました。

東京都では平成九年度中には八丈島でも透析を行う予定とのことですが、島しょ透析は本当に始まったばかりで、今後、運営していく上でさまざまな困難な問題が出てくるのが予想されますが、患者の立場を最優先に考えて運営されていかなることを願っています。

竹田文夫会長さようなら

手品も見られなくなり残念

東腎協会長代行 糸賀 久夫

竹田会長は、いつもニコニコ微笑んで、心暖かな人物の方でした。

東腎協の活動に参加された頃は、宴会の席や、バス旅行のときには、奇術サークルで覚えてきたのでしようか楽しい手品を披露してくれました。本当に人を楽しませることの上手な方でした。その手品も会長になってからは、忙しくなってしまうため、見られなくなり残念でした。その反面、会議などには、少しお洒落に襟ネクタイを締めて、パツパツきめて出席

するジェントルマンでした。

東腎協の中では、患者会のない病院に患者さんを訪問してのまわり、透析患者が手をつなぐことの大切さを訴え、患者会を作ってほしいと熱心に活動されました。中でも、多摩ブロックを重点的に訪問されました。会員さんの中には、竹田会長にお目にかかったのがきっかけで、会の活動をはじめ

年は取ってもやればできると

東腎協副会長 一ノ清明

「会長、山登りはやっていますか」「この間は、雲取へ行ってきましたよ、それから、〇〇もね」とその時々、紀行文などを見せながら、「年は取ってもやればできる、やらねばいかん、フアイト、フアイト」と元気に話されていたのがこの間のように思っていました。

この一、二年は、体調が悪いにもかかわらず、東腎協の活動に熱心に参加され、特に組織拡大をはじめ、常任幹事の育成などに尽力されました。

私も竹田会長の遺志を引継ぎ、東腎協の発展のため微力ながら頑張りたいと思います。

竹田会長、本当にご苦労様でした。そしてありがとうございます。

安らかに眠りください。

この一年ぐらいいは足を悪くされ、その後の心臓手術との戦い、そして、この度、突然、逝去されたことを知らされ、残念な思いで一杯です。

竹田会長は東腎協に入られた当初から、組織の拡大に力を入れ、新しい病院を訪問して患者会の結

成への助力をしたり、東腎協への入会など、会員拡大に活躍されました。そして、東腎協の年間の行事をスライド写真に撮り、会員交流会や、新しい患者会などで映写して、病院患者会の皆さんに東腎協を理解してもらおうように努力もされていきました。

特に多摩ブロックの役員会や会員交流会などの行事には多くの会員が参加するようになり、このことはいまでも受け継がれているように思います。そして他のブロックの活動にも少なからず影響を与えたことは言うまでもありません。さて、話は変わりますが、旅行などで見せていただいた手品は、プロ級で、(ご本人はプロの先生に師事して、未だに腕を磨いているのだから、プロだと言っていました) バスの中や、ホテルの舞台で存分に楽しませてくれました。お住まいの方では、市のボランティア活動にも参加され、お年寄りの行事でも手品をやったり、生まれ故郷の同じ岩手出身の「啄木の会」にも入り、幅広く活動されていたことも聞いています。

このように思い巡らして見ますと、竹田会長は人を喜ばせ、とかく



固いといわれがちな東腎協の活動なども、みなが楽しく、やることに一貫していたように思われます。

個性を発揮しみんなの注目

東腎協副会長 高橋勇二郎

竹田さんが常任幹事の中で際立って個性を発揮し、みんなの注目の的になったのは、役員同士の旅行会でのことだったと思います。

竹田さんの登場は手品から始まりました。ちよびひげをつけ、チャイナ帽にチャイナ服装での登場

で、それまでの彼に対する認識は一変に改まりました。普段のまじめで落ち着いた態度からは考えられませんでしたから。プロなみの手品で宴会の雰囲気はいっつきに和らぎました。

その後も彼の話術と芸は交流会などで、いかになく発揮されました。それまでの東腎協の役員は、どちらかというところ、まじめ一方の人が多かったように思われます。透析歴も長く、若い時に病気になるために闘病、仕事、患者会活動と明け暮れし、生活にも余裕がなく、遊びや社会経験が少し劣っていたように思われます。

竹田会長、長い間、本当にご苦勞様でした、そしてありがとうございます。ございました。

その中で竹田さんは、立派に社会人として成功され、その上での病気であり、また営業で活躍されたといわれる経験があつたことでしょうか、ひと味違う見識をお持ちのようでした。

竹田さんの目指していたものは、きっと「もつと患者でも楽しもうじやないか」ということだったのでしよう。その点で役員の中で意見がぶつかることもありまし

人の和を大事にする人

東腎協副会長

柳

光夫

養事務局長より私の勤める会社で竹田会長の死を告げる電話が突然入りました。

私たちの会は病人自身が自分達の生活、医療、福祉を守るために組織し活動している会なのだから、宿命だと言われれば、そうなのかもしれない。

だが、今では、あたりまえのように活発な交流会やレクリエーションが行われています。

竹田さんがみんなの推薦で会長に選ばれたからは、役員拡大に務められました。彼の個人的な広い付き合いの中から、次々に役員が増えていきました。この人たちは今後の東腎協の大きな財産になるでしょう。

竹田さんの東腎協改革の志も、思いなからばであつたらうと思いますが、その基礎は立派に出来上がつています。

竹田さん、どうぞ安心して東腎協を見守つていてください。ご冥福をお祈りいたします。

悲しみはいつも変わりません。竹田会長は人の和を大事にする人でした。自分の考えを押しつけることもなく、役員全員の総意で運動や行事を進めていくことを常に考える人でした。

私も含めて多くの人は、自分の我を通したり、自分の思い通りに行かないと嫌気がさしたり、全体のことも考えず批判だけ言いがちなのが人の常です。

ただ病気が同じでいろいろな性格の人がいる会を、持ち前のソフトな語り掛けでまともな上げていかれた。人徳だと思います。

その最たる事が全腎協二十五周年記念総会を引受け、実行したことです。当初、兵庫県で開催される予定でしたが、突然の大災害で実施出来なくなり、情況から東京での開催しなく、竹田会長は、全腎協が困っているなら引き受けるべきだと役員を説得し、開催に踏み切ったことです。

今、患者会活動は大変な時期にきています。医療保険制度より「今後の医療保険制度のあり方と平成九年改正について」という建議書が厚生大臣あてに平成八年十一月二十七日提出され、その内容

は健康保険本人二割負担、薬剤の三、五割負担等々、問題は山積です。

このような時期に竹田会長を失つた事は大きな痛手です。

私にとつて心残り、全腎協の役員を兼任してしまひ会長の補佐

粘り強さと旺盛な行動力

東腎協副会長 堀 和正

を殆ど出来なかつたことです。竹田会長の遺志を全員で何とか引き継いで活動を続けて行かなければならないと考えます。

竹田会長のご冥福を心からお祈り致します。

十一月十七日の常任幹事会の際に、小川常任幹事より容態についての報告があり、一日も早く回復されることを全員で祈つた数日後に森事務局長より計報を受け取りました。心臓手術の経過も順調で、今にも復帰されるように、伺つておりましたが、再び倒れられたとのこと、いまだに信じられない気持ちで一杯であります。

同じ志を持つて、患者会発展のために戦つてきた同志の旅立ちには、残された者にとって堪え難いものがあります。小生が常任幹事に成つてからの十一年のお付き合いになりましたが、就任直後に、会員拡大交流委員会に属して、共に会員の拡大と交流会を主に手掛けて参りました。

これは正直言つて、なかなか大変な仕事です。体調の悪いときもありません。何度も辛い思いをしました。特に病院訪問では嫌なことも度々でしたが、竹田さんは嫌な顔一つしませんでした。その粘り強さ(東北人独特のものか)と旺盛な行動力は、真似の出来ない事であり、患者運動は実に根気の要るものであることを、勉強させられました。

いつも蝶ネクタイのダンディ男、常にニコニコして人当たり柔らかく、少々東北なまりで説得力も抜群、さすがに元商社の営業マンであつたことを忍ばせません。手品の腕も素晴らしく、患者会などで、披露していた姿が目につかびます。小生もどちらかと言えば、

営業畑だつたので竹田さんとは、うまが合つたような気がします。

東腎協副会長になつて、「オリーブ」に皆に親しまれる「東腎協」を信条とし、会長の人柄も浸透して、常任幹事以下、全員が一致団結して順調に歩んで来たのに、この度の不幸は、誠に残念でなりません。

竹田会長は皆に親しまれ、大きな存在であつたのです。今は幽明

積極性と優しさと情熱の人

東腎協常任幹事 小川 嗣雄

まだ私の手には、竹田会長の暖かいぬくもりが残っています。

心臓の手術をされた後、病院まで送り、廊下を歩きながら手を引いて一語に歩いたことが、つい先日の様思い出されます。

会長との出会いはずいぶん前からあつたのですが、親しく話す機会が出来たのは、私が常任幹事になつてからで、会議の帰り道、電車の中で東腎協の組織や活動のこと、好きな山歩き、手品、以前勤めていた会社のことなどたくさん話をしてくれました。お酒も好きで、よく駅のホームで缶ビール

境を異にして、共に活動したり、話をしたり、酒を飲んだり、笑つたり、叶わぬこととなりましたが、どうか竹田さん、会のご事は糸賀会長代行を中心として、今まで以上に頑張つて行きます。どうぞ、ご心配なく、安らかに眠り下されるようにお願いすると共に心から、ご冥福をお祈り申し上げます。お別れの言葉といたします。

合唱

私の前に一枚の富士山の絵が額に入って透析室にあります。これは会長が痛い足を引きずって、絵とそれに合う額も一語に見立てて贈ってくれたものです。また私が何か行動する時には、必要な資料を必ず届けてくれアドバイスもしてくれました。そんな心の優しい会長が、六十四歳という若さで私達の前から去ってしまったのは、本当に残念でしかたがありません。

最後に病室で会った時、意識がはっきりしないのに、目だけジツト見つめられた時、まだ自分はやり残した事があると云っているような気がしてなりません。もう一度、山も歩いてみたかったです。

医学研究のため献体を

立川北口駅前腎友会(幹事) 中村 軒二

竹田会長との出会いは、透析に入った昭和五十六年からのお付合で、年齢も同じなら、町会自治会も同じで、透析日には車で国分寺南口クリニックに一緒に通ったもの

です。彼は少年時代に父親に死に別れ、牛乳配達をして学資を稼

会長手作りの本の中で山行の日記、自然への感想、人生観などの記述を読ませていただいた時、まだ多くのやり残した事があると感じました。思い出は尽きませんが、私は今会長が求めたい理想やその行動力を受けた、会長が話され目指していた医療環境の確保や、患者仲間の団結のため行動していきたいと思っています。私達透析患者にとって日々厳しさが増していきますが、会長が頑張られた東腎協に、多くの仲間と共に少しでも良い医療を作ることが私の会長へのお礼だと思っています。

会長、長い間ご苦労様でした。これからも私達透析患者を見守っていて下さい。さようなら。

これからは手品の会に入り、プロの品師も顔負けするほど上達し、親光会の新年会や東腎協の旅行会などで、皆を喜ばしくくれました。また、山登りが好きで暇があれば山へ行っていました。山への思いを書いた「ひとり旅」という本を作り私にくれたこともありました。

東腎協入会は、ある時何処で聞いたか「腎臓病の会が目白にあるそうだから行ってみよう」と二人

で目白の旧事務所を訪ねて、いろいろお話を伺い、先輩のご苦労が判りました。その後、病院の患者会を作ろうと二人で結成しました。

初めは十二人で国分寺南口クリニック親光会と名付け活動したものです。今では七十人位になっています。竹田さんは東腎協の常任幹事に出て会計、事務局次長、副会長に、そして会長になり「若い人によってもらおうと思っただが、やり手が無いので会長を引き受けた。体の続く限り頑張りたい」と言っていたのが印象に残っています。

彼は手品の会に入り、プロの品師も顔負けするほど上達し、親光会の新年会や東腎協の旅行会などで、皆を喜ばしくくれました。また、山登りが好きで暇があれば山へ行っていました。山への思いを書いた「ひとり旅」という本を作り私にくれたこともありました。

彼は、心臓のカテーテルの検査の結果、弁の開きが悪いので手術することに、大丈夫かと言うと「まだ長生きしたいから、手術するんだ」と答えました。こんな事になるなら、痛い思いをしな

方が良かったのではないでしょう

か。

竹田会長との最後の会話は、十一月一日朝、透析に来て「今日はどうも調子が悪いんだ」と言うので「あまり昨日歩き過ぎたんじゃないか」と答えたのが最後になりました。透析中脳出血で、救急車で入院、面会謝絶でとうとう最後までお会い出来なかったのが残念でなりません。

二十三日に透析が終わってから帰りに見舞いに行こうと思ったのですが都合で行けず、その晩に亡くなり悔しくてなりません。彼は、生前から医療研究のためにと献体を希望していました。

竹田会長、天国で歴代の亡くなられた会員、ならびに会員の皆さんに、手品でもやって皆を喜ばせて下さい。大変長い間ご苦労様でした、どうか安らかにお休み下さい。ご冥福を心からお祈り申し上げます。



愛と希望の贈りもので 私の笑顔、あなたの笑顔に違いたい

東腎協が毎年、東京都のご理解をいただきともに主催し、各団体

・東京都医師会、東京都眼科医会、日本腎臓移植ネットワーク、都内各アイバンクとも手を携え、ライオンズクラブ国際協会330-A地区のご協力をいただいて実施している腎臓及び角膜移植推進キャンペーンが十月二十日に上野公園と小金井公園で開催されました。

あいにくの小雨模様でしたが、なんとか持ちこたえてくれました。あいさつは主催者代表として東京都衛生局技監林泰史氏、東京

都医師会理事森満洲雄氏、東京都眼科医会会長井上治郎氏、そして東腎協副会長堀和正がそれぞれ熱心に腎臓移植と角膜移植への協力を訴えました。

上野ではパンフレット配布も打合せ通りすみ、「ふれあいスマイルショー」と題した舞台での催しにはドラゴンボールGTショー、はいけんたWidguitar、バージョーン、BAD BOYS、そして腎臓と角膜への理解を進めるクイズ式の腎臓角膜・マジカルパネルにも特別ゲストとしてライオネス飛鳥さんが出演して、いつも明るく美しい松村満美子さんの司会のもとに、参加者への啓蒙と提供への協力を呼びかけました。

医療相談は上野が嬉泉病院副院長中村修先生、小金井は杏林大学医学部蓬田茂先生から暖かいご支援をいただきました。また無料血圧測定はいつも人が押しかけて、アトラクションの割れるような音

楽の中で耳が疲れるほどに、測定をしていただくのですが、今回は

上野は大塚台クリニック、嬉泉病院、森山病院から各二人のナースの方の参加協力をいただき、休憩をとりながら測定することができました。小金井では吉祥寺クリニックから二人のナースの方が協力してくれました。

参加者総数は一八一人、医療相談者数は十五人、血圧測定者数は二九五人と盛会でした。東京都衛生局の職員の方々には最後までお世話になり、当事者患者運動の弱さをカバーしていただきました。例年のことですが改めて感謝をいたします。

今年は意思表示カードを六〇〇枚配布したので、その効果を期待するとともに、腎登録との二本立てで、今後も腎臓移植の普及への道を拡大していかなければならないと思われまます。

(報告・木村)

臓病

無料医療相談



腎臓病医療相談。左・中村修先生／右・蓬田茂先生



小金井公園でも キャンペーン

日時 平成八年十月二十日(日)
午後一時三十分～四時
会場 小金井公園

東腎協 活動のほど



意思カードを説明する玉置勉さん

玉置 勉

腎臓提供に関する 意思表示カードの意義 (社)日本腎臓移植ネットワーク

桜の園なかよし広場
東京都衛生局、医師会、腎臓移植ネットワークの各代表挨拶のあと東腎協小川常任幹事が挨拶「移植を待ち望む多くの人のために登録を」と訴えた。
「クレヨンしんちゃんショー」の人気は一回、二回共上々で、集客効果はかなり大きい。幼児づれの若

今日まで脳死を判定されたり、重篤な状況に陥った方のご家族に腎臓提供についての説明をさせてもらってきた。このような説明を目的に、ご家族にとつては降って沸いたような迷惑な話になる場合もあるだろうし、衝撃になることもある。しかし、腎臓の提供をしないに拘わらず、助け合いの医療である腎臓移植に関する説明を聞いてよかったといってもらえる場合もある。

ところが、説明をまかされた当人としても、気遣いの他に心構えと口にはできない大変なプレッシャーを感じているわけである。そこで、腎臓移植についての説明をされる側、する側の極度の心労を軽減する意味でも、この本人意思というものが必要となってくる。

この本人意思を記載するために考え出されたのが、ドナーカードである。

そのドナーカードは現在、二通りの方法で意思表示が行われている。すなわち、一方は従来型の腎バンクを代表とする、各自自治体が管轄する、それぞれの公益法体が個々の腎提供承諾者が前もって登録する制度のドナーカードであり、他方は厚生省の「臓器技術臨床研究開発事業」のB班「臓器移植の社会的問題に関する研究」において検討され、当社団法人が作成、配布している自由配布制度の新しいドナーカードである。

前者はすでに一般社会にかなり、浸透しているものの、その登録方法に若干の手間を必要とし、後

者は登録するための手間が省かれるが、登録者数を把握することが難しくなる問題点をかかえている。しかしながら、登録者を増加させるためには後者の自由配布制度も必要であると、新しい制度が考え出されたわけである。

また、われわれが強く要求している運転免許証へのドナーカード併記制による登録方法については、後者の自由配布制度になることを認識して頂きたい。しかし、新しい登録制が考案されたからといって、この制度で統一することで、はたして、それぞれの自治体で採用について検討すればよいことであり、二者の制度を併用していたり、いともよいわけである。目的はあくまで、善意の腎臓提供者の意思が数多く表明されることである。

いご夫婦がかなり参集していた。ノベルティ配布は、多摩地区二、一〇〇箇と聞いていたが東京都衛生局職員とライオンズクラブの参加とご協力があり、東腎協の分担は三分の一の七〇〇と子供用が五〇となった。応援に駆けつけてくれた会員九〇人余は皆で公園に集う人々に一個づつ手渡し、献

腎への協力をお願いした。会員の奮闘で第一回の配布を開始してすぐ、大方の分を終了した。

当日の天候は薄ら寒い曇り空、時々雨もはらつく有様で、終日スケジュール通りの実施が危ぶまれる状況だった。(ノベルティ配布を急いだのもそれが理由)市民祭は予定通り行われたが、前年と比

べると入出が少なかった。医療相談、血圧測定、登録コーナーを最奥部に設置したため舞台まで来る人が、更にその先まで行こうとしない傾向があり、呼びこみをスビーカーマイクで度々行っても効果は十分ではなかった。今後検討の必要があると思えた。

(報告・小田原)

重要なテーマを2日間討議

第40回関東ブロック会議を東京で開催

関東ブロック会議は東腎協、関東地区腎協の代表が活動報告と重要なテーマについて、討議、情報交換する場ですが、今回は全腎協が法人化して最初の大切な会議であり、十二月七日、八日の二日間、東京、中野サンプラザで、四十八人が出席して、活発な討議が行なわれました。

開会に先立ち、十一月二十三日逝去されました、故竹田東腎協会長や、仲間の死を悼み、黙祷が行なわれました。糸賀東腎協会長代行が、「竹田会長の遺志を引きついで組織拡大に取り組みます」との力強い開会挨拶をした後、議長に選出されました。

があり、続いて、各県腎協代表、東腎協から、前回以後の活動について報告がありました。

次に、重要テーマの討議に移り、災害対策について

一、災害対策について
関東ブロックとして、「災害時広域ネットワーク」を作るため、東腎協、各県腎協代表による委員会を設置することが決まりました。

二、今後の献腎運動について

腎臓提供者を増加させる方法や毎年行なう腎臓移植推進キャンペーンの対策について討議されました。

三、透析スタッフの人数不足

全腎協として、透析患者数対スタッフの適正基準を作ることは難しく、「安全な透析を目指して、各患者会と施設の話合いが基本である」との結論になりました。

四、関東ブロック会議のありかた
新組織となっても、全腎協として本来の当事者運動として縛られ

ず、活動したいとの説明がありました。また、

次回第四十

一回会議は

七月五日、六

日、山梨

県、河口湖

で行なうこ

との確認

と、新組織

となり、ブ

ロック担当

理事に、一

ノ清関東ブ

ロック代表

を推薦する



右端から挨拶する「ノ清」ブロック代表、議長糸賀会長代行、講師の柴田さん



会議終了後、虎の門病院腎セン

ター血液浄化療法室長、柴田猛氏

を講師に、「血液透析療法の実況

と将来」について講演がありました

が、時間をオーバーしての熱意

あふれるものでした。

法の説明がありました。

また、アメリカで一般化してい

るダイアライザーの再利用につい

ては患者にとっては刺激的な示唆

で、反対せざるを得ないのです

が、より高い性能のダイアライザ

ーの開発、質の高い洗浄機能、スタッ

全腎協第40回関東ブロック会議



腎臓病の医療相談

東難連主催で

東難連腎臓病相談会が十一月二十三日に東京都障害者福祉会館で東腎協から五人が参加して行われた。医療関係協力者は山田明先生（虎の門病院腎センター）、三村俊英先生（東京大学医学部）、野島義久先生（東大医科研）、五十嵐隆先生（東大医学部分院・小児科）、MSW五人、看護婦一人、東難連三人で、受診者は二十人と、昨年倍となった。

終了後反省会を開き、受診者のプライバシーの許す範囲で話し合いを持った。例としては、予後に對する一般的不安および再発に對する不安、将来透析療法が必要になったときが不安、特に病院や医師に對して不信感を持ったために転医するケースもかなりあり。

ネフローゼ症候群の治療内容ではステロイド服用中の副作用に對する認識不足、これは患者と医師とのインフォームド・コンセント

不足ではと思われる。若い人は副作用で太るから体形を気にして、漢方薬を入手する。

薬に関しては、たくさんの本が出版され、いろいろなことを知ることができるとい意味では、よいのか悪いの判らない。逆に情報が多すぎて理解することができないために、よけいに不安になる人も多い。結果的に間違った行動もしてしまうというケースにいうことが少なくない。他人から薬に関する話を耳にしたら、呑み込みしないで、勝手な判断は避けるべき。不安に感じるなら、勇気を出して医師、薬剤師に確かめる方がよいとの意見が出た。

ネフローゼは入院治療が長期のため、病状が好転せず、家族や自身も不安感や医師に不信感を抱き転医すると聞く。多発性のう胞腎の場合、遺伝性なので、告知の問題も出て、家族にしても人生最悪の出来事であるし、薬をも拒む気持ちで相談にきたのである。医師、MSWもきちんとした答をしたので、相談に来てよかったと元氣になつて帰つた受診者が多かった。感想としては今回もいろいろな声が聞け勉強にもなり、苦勞も多

いが終了後は開催してよかったと思う。
(報告・北爪)

小石川ぶらぶら散歩

中央部会員交流会

秋の中央部会員交流会は、十月二十七日に会員二三名の参加を得て、やや気温は低かったものの、雲一つない快晴に恵まれ、ぶらぶら散歩を参加者一同、それぞれに楽しんで過ごしました。

予定通り茗荷谷駅を出発点とし、小石川谷をはさんで教育大跡地「占春園」「小石川植物園」「伝

通院」「幸田露伴住居跡」「こんなにやくえんま」等アップ・ダウンの多いコースでしたが、参加者の日頃の自己管理や運動の成果により、殆どの人が歩き通し昼食迄の歩数が一万歩を超えるという記録となりました。

昼食は「文京シビックセンター」二六階スカイ・ホールで展望を楽しみ、懇談しながら椿山荘のお弁当を頂きました。また、広いホールの貸し切りを利用して、糸賀副会長より、最近の課題・医療制度改悪に對処するため、我々の結束がますます必要である、等の有益なスピーチもあり、第一次の予定は無事終了しました。

第二次の自由参加として「小石川後樂園」の散策を募つたところ、一五名の参加で、一時から三時頃迄後樂園の庭園を歩きました。

いずれも紅葉にはまだ早い季節でしたが、早くも真つ赤に染まっていた木も見受けられ、また、それぞれの名所も昔来たことがあった、とか、名前は知っていたけれど来たのは初めて、など手軽な千円会費にしては、天候にも恵まれ、心の晴れた一日でした。

(報告・鈴木啓市)



小石川植物園でハイ・チー

今回の会員さん訪問は、西新宿診療所で透析と上手につきあって活発に暮らす透析六年目の増田浩子（三十九）さんです。増田さんは工業系の大学をでられ、いまはコンピュータ技術者として活躍されています。

始めは腹痛から

どのような経過で透析になられたのですか。

増田 高校三年のころ、盲腸の手術後の腹痛が慢性的になっておかしいと思って、病院を変えたら、ブラス4の尿タンパクが出て、ネフローゼといわれたのが最初でした。大学や就職してからも実家のある静岡の病院に通っていたので

すが、八年ほどたつてから、尿管や腎盂の疾患で腎臓に尿が逆流するとか尿道や膀胱がつまって手術しないと治らないといわれ、手術をうけましたが、慢性的な痛みは治りませんでした。そこで、通院も大変で、かえって悪化したように思いましたので東京の病院に変えました。その後も、たびたび腎盂に炎症を起こし高熱がでて、入院を繰り返していました。

長い間そのような状態だったので、急にクレアチニンの値があり、頭痛がひどくなることがありました。そのとき、一度臨時透析を受けたことになりました。

臨時透析を受けたあとは、クレアチニンの値もさがり、すぐには維持透析にはいりませんでした。維持透析にはいることはありませんが、それから五カ月後ぐらいいから現在の病院で透析を導入し、そのまま通っています。

透析導入の時は不安がありました。せんでしたか。

増田 臨時透析をしなければならぬといわれた時はショックでし



大崎夫妻、軽部常任幹事と一緒に話を聞く

たが、その時の経験では、頭痛がとれて良くなりましたので、改めて維持透析に入る時は、頭痛がとれるのだという気持ちのほうが、不安な気持ちより大きかったです。ただ、血管が細いのでシャント手術がうまくいかず、人工血管を始めましたので、ちよつと大変な思いをしました。いまでは、人工血管も駄目になりましたが、シャントの手術が成功して、それを使っていますのでかなり楽な思いをしています。

透析導入後入院が減った

増田 透析して困ったことはありませんか。

増田 困ったことより、尿量が減

って、腎盂の炎症が起これなくなら、かえって元気になって良かったと思っています。最初は、腎臓移植の希望登録もしていたのですが、腎臓の機能が回復したなら、「水」は飲めるようになるのでしようけど、熱が出るかも知れないので、不安で更新をせずにいます。別によい治療法も見つかれば考えますが、いまは「血液透析」と一生上手につきあっていくつもりです。そういった意味でも私にとっては、透析で困るということはありません。

増田 仕事に支障はないのですか。

増田 仕事は、透析のない日は残業もしますし、夜間透析で仕事場に近い病院で透析していますからほとんど問題なく行なっています。私は、コンピュータのシステムの請負開発をやっているのですが、幸い、会社制や職場の仲間の理解があり、給料やその他の待遇では透析がハンディとなっていない。大変恵まれていると感謝しています。

増田 前向きにとらえていらっしゃるのですね。その他透析に入つて感じたことはありませんか。

増田 透析に入つて患者会の仲間

会員さん訪問

第62回
西新宿診療所
増田 浩子さん

透析を素直に受けとめ 仕事も遊びもがんばる

や患者サークル（プロードビーンズ）の仲間と知り合えて、また視野が広がり、よい人生経験をしたなと思います。仲間達の体験談や情報は自分の養生にも大変役立ち

ます。また、楽しい会話や旅行などは心をなごませてくれます。私達のように新しい患者は、透析技術も向上していることもあり、あまり悲観的に捉える方は少ないように、「透析も一つの個性」の時代に入ったのではないのでしょうか。

人生を前向きに

— 今、どのようなことに興味がおありですか。 —

増田 仕事でいえば、現在パソコンが普及して、今まで大型コンピュータで行なってきた仕事も、パソコンやサーバマシンで開発するようになって来ています。

この世界は、めまぐるしい技術革新が続いて、つきかからつきへと新しい技術が入ってきます。その技術の取得が当面の目標です。

インターネットだとか、ホームページとか、電子マネーだとか世の中騒がしいですが、そういったことも今後勉強していきたいと思っています。

— 仕事関係以外では、今後どのような活動をするつもりですか。 —

増田 先ほどもいいましたが、同年代の人が多く参加している、腎臓病のサークルも積極的に参加していきたいと思っています。友人を多く作って生活の糧にしたいと思っています。

— そういった意味では、今回東腎協とご縁をもてたわけですから、特に青年部の方達との交流も期待します。 —

— 最後に伺いますが、ご結婚のことなどはどのようにお考えですか。 —

増田 これは、縁のものですからなんともいえませんが、病気がちなったこともあってその方面はなかなか縁遠かったのですが、今は

もし、いい人がいて縁があればという気持ちです。

取材の感想

待ちあわせの西葛西駅に夕暮れの中、髪をなびかせたシルエットが一步一步確実に近付いてきました。駅の蛍光灯で照らされて現れたのが増田さんでした。第一印象は落ち着いた感じの清楚な女性というものでした。

実は増田さんは、私と同じ職種で同じ病院でしたが、何故か縁がなくていままでお話しできなかったのです。私ことながら、このような活動でいろいろな方とお会いできるのは楽しいでもあります。今回は特に、噂はかねがね伺っていたので、一層興味を感じていました。

— 今回は記事にはしませんでした。 —
— その期待に違わず、仕事の話や、病院のことも話していただきとても楽しい一時でした。また、紹介していただいた大崎夫妻にも同席してもらって大変感謝しています。

（文・久保）

（写真・木村）

増田浩子さんの話に思わず身を乗り出す久保常任幹事



ななまの たより

会員の皆さんから原稿を募集しています。うれしかった事や悲しかった事、苦しかった事などの闘病記、ひとり言やカット、写真などなんでも気楽に書いて事務局へ送って下さい

日帰り旅行に参加して

あけぼのクリニック友の会 中村 玉枝

立川相互腎クリニック希望会 寺本 悦子

みかん狩り、紅葉の山を眺めて

透析をはじめ、一年数カ月、家族だけでは多少の遠出ですが、色々な面で自信をもはしていましたが、団体行動となると、目もろくに見えず、車椅子にたよらなければ移動する事の出来ない私には、正直いつて皆さんの足手まといになってはと不安で一杯でした。

待ちに待った、みかん狩り。主人が病気になって二年が過ぎ、以来はじめての旅行。透析六年目に脳出血になり、車椅子の生活になってから、どこか遠くへ行くことはあきらめていました。そんな矢先、看護婦さんの一人が「寺本さん、みかん狩りにいきますよ」と、声を掛けてくださり、「エッ、こんな状態で行けるんですか」と尋ねますと、「大丈夫」と言っておだきだしたときは、内心不安ではありましたが、すぐに決めました。

でも、そんな不安をよそに思いがけず、もう何年も行っていない数々の名所へ行くことが出来ました。

※日帰り旅行(熱海)コース
H. 8. 9. 30

「寺本さん、みかん狩りにいきますよ」と、声を掛けてくださり、「エッ、こんな状態で行けるんですか」と尋ねますと、「大丈夫」と言っておだきだしたときは、内心不安ではありましたが、すぐに決めました。

これもお皆さんのお陰と本当に感謝しております。皆さんに色々手を借りたりお声をかけて頂いたり、これから先の励みにもなりました。

早川IC(小田原厚木道路)―熱海温泉(入浴・昼食宴会)大月ホテル―芦ノ湖―大涌谷(見学)―御殿場―須走IC

「寺本さん、みかん狩りにいきますよ」と、声を掛けてくださり、「エッ、こんな状態で行けるんですか」と尋ねますと、「大丈夫」と言っておだきだしたときは、内心不安ではありましたが、すぐに決めました。

同じ悩みを持つ仲間どうし昼食時には意見交換をすることもできました。バスの中では数々のレクレーション、本

道―(東富士五湖道路・中央道)―八王子IC―クリニック前

「寺本さん、みかん狩りにいきますよ」と、声を掛けてくださり、「エッ、こんな状態で行けるんですか」と尋ねますと、「大丈夫」と言っておだきだしたときは、内心不安ではありましたが、すぐに決めました。

当に充実した一日を過ごすことも出来ました。

参加者三十三名

「寺本さん、みかん狩りにいきますよ」と、声を掛けてくださり、「エッ、こんな状態で行けるんですか」と尋ねますと、「大丈夫」と言っておだきだしたときは、内心不安ではありましたが、すぐに決めました。

ここ数年、病氣も手伝わ

あけぼのクリニック友の会「きさう」第11号より転載

「寺本さん、みかん狩りにいきますよ」と、声を掛けてくださり、「エッ、こんな状態で行けるんですか」と尋ねますと、「大丈夫」と言っておだきだしたときは、内心不安ではありましたが、すぐに決めました。

脳出血二年後の患者さんと
共にバス旅行に参加して
立川相互病院

透析室勤務看護婦

浅井 春巳

入院透析室には、外来通院中の患者さんが現在五人いらっしゃいます。皆さん家族の方が介護されていますが、患者さんの世話と透析の通院介助で毎日を送っているため、なんとか家族を含めた交流会を持ちたいと考えていたところ、外来クリニックの患者会・希望会で日帰り旅行を計画していることを知りました。

立川市の福祉課に交渉に行き、車椅子バスの手配や現地での食事の内容を変更したり、当日のスケジュールも合わせてくれました。

体力を考え、今回は寺本さんだけの参加となりましたが、誰よりも奥さんがとても、楽しみにされていました。ご主人が脳卒中で倒れたことから、二年、夢中で介護にあたり、旅行が出来るとは思ってもいなかったようです。最初は乗り気ではなかった患者さんも近づくに連れて、心構えが出来たようでした。

当日は早々と集合場所に来ていました。前日は好きなお酒も飲まず、「暖かい下着を着る」と家族に訴えようとしたが、なかなか、伝わらず大変だった。なか、家での様子をお聞き、久しぶりの旅行に対する患者さんの気持ちが伝わってきました。

倒れる前には、時々通った道らしく、なつかしそうに外の景色を眺めている表情は、病院では見られないものでし



車椅子に乗る寺本さん

た。みかん狩りも楽しみ、少し長時間でしたが、富士山や紅葉した山々を眺め、楽しい旅行が出来ました。

今後も入院透析室として、

家族を含めた行事に取り組んで行きたいと考えています。希望会役員の方々には大変お世話になりました。心から感謝しています。

東腎協の交流会バス旅行で鎌倉

こやまクリニック腎友会 早瀬 弘美

バスは二時間で鎌倉に到着、食事と大仏見物とお土産の物色を一時間で済ませ、鎌倉シネマワールドへ。シネマワールド内は自由行動という事で、結局私達四人は日本映画ゾーンのみを見物した。

日本映画ゾーンは、「男はつらいよ」―寅さんの世界―と時代劇とに別れている。柴又通りや帝釈天の参道（模写）が再現されていて、下町情緒に浸ることができている。

早速だんご屋で一休み。昼食後の甘味でお腹が一杯なのに、更に揚げたてのコロッケを頬張りながら、駄菓子屋、たこやき屋、もつ焼屋、ラーメン屋の通りを歩いてゆく。寅さん人形は、一寸似ていないと思った。

時代劇ゾーンでは、必殺シリーズの中村主水と飾職人の秀の絵を描いた看板が立っただけで、顔の部分だけくり抜いてあり、そこから顔を出して

写真を撮るようになっていく。私は主水の方に顔をだした。お互いその顔と身体のアンバランスの面白さに大笑いした。

オープンセットの町並に入るとそこはもう江戸時代だ。居酒屋の縄暖簾、口入屋や旅館の暖簾が風に揺れ、水車が回っていた。今にも一陣の風が吹き抜けて行きそうな気配だ。

私達は、ほんの一部だけを見たらしいが、二時間半程の時間があつという間に過ぎていた。久しぶりに童心にかえつた一日だった。

幹事の皆さんにはお世話になりました。

カンパ金は活動の一部に

個人会員（患者ご家族）

中山 隆重



中列右端が早瀬弘美さん

向寒のみぎり、皆様方には人知れぬ苦悩の体調の中、会員諸兄弟を始め、未加入の多数の方々の希望の光として、毎日のご努力に、深い敬意と感謝の気持ちで、申し上ぐべ

き言葉も見当りません。
心から御礼を申し上げます。

雑感

内山 孝子

「ぜんじんきょう」No 一五八、今日受け取りました。編集にたずさわる方々、原稿を整理される人知れぬ苦勞、医療、介護、福祉行政の移り変わりと今後について目を離せぬ事ばかり、尊い資料や情報の提供は、私共会員には、どんなにか生きる事の勇氣を与えて下さるか計り知れませんが。

どうぞ皆様方、充分に御身体を大切になさいますよう、心より願って止みません。

過日電話致しましたが、本人患者が入退院の繰り返し中で、国会請願の署名も遅れましたが同封致しますので宜しくお取り扱ひの程を、尚、僅少でお恥かしいのですがカンパ金を別途振替郵便にて送金させて頂きました。活動の一部の足しにでもして頂きますれば幸甚に存じます。

では皆様の御健康に御留意を祈念しつつ擲筆致します。

平成八年十一月十三日

予期していた透析生活に入り四年の月日がながれた。不本意な選択であった事は、透析患者となった人は皆同じ気持ちであると思う。社会に生まれ落ちた人間の確率的な選択であると理解し、幸運にも医療技術のお陰で、運が良ければ三十年間は保証されるかもしれない。

最近、「患者」のクオリティオブライフと言われはじめたが、患者という言葉は括弧でくくられると、日常生活の中では、なかなか一人一人の顔が見えてこない気がする。それぞれ今の自分らしさを発揮するためには、まだまだその人自身の生きる姿勢と努力が関係しているし、多くの周りの人達との関わり方、信頼関係が大切な事だと痛感しているところで。私も「患者」という閉塞的な環境からの脱出に精神的、

物理的にも解放されるの時に時間がかかったし、簡単ではなかったなあと思う。まず、自分と向き合うという作業があり、これが難解で、いろいろ本を読みあさり、事実を受け入れるまでのプロセスは、言葉では言い尽くせないことだ。心身共に解放され、楽になつて、笑顔がもどりはじめ、そこから始めて出来ることへのチャレンジの生活がはじまつた。

健康であつたら、日々流されて生命の尊さを感じることもなかつたかもしれない。そして必ずやってくる終わりの日があることを考えることで、一日一日の大切な時を一杯生きていることを学んだ事は、大きな事だつた。ウーン！言葉にするにサラリと過ぎたようだが、重さがある体験だつたと思う。

私にとっての生きるエネルギーは子供達との関わりだつた。可能性という電波を子供達からあびて、心がシヤンとなり、笑顔がもどってきた。そして、子供達は私を一人の

表紙のことは

樹永 照也

渋谷区・原宿

やっと試験も終り、「原宿のイルミネーションがきれいだよ」ということでやってきました。駅前には若



人間として自然に受け入れてくれた。同情もなく前とかわらず、そのことは、とても感謝であり、生きる支えとなつた。子供達のまぶしすぎる可能性が発揮できる社会は、患者だけでなく、社会の弱者の立場の人達が安心して共に生きられる世の中であると考えま

す。生かされる事から生きる喜びへ、時間に追われながらも、自分らしさの発見をしたいと思います。ところで。

平成八年十月二十日
人工腎臓虎の門高津会発行
「生きる」第二十五号
より転載

者で一杯です。少しくとストリートライブやパフォーマンスが繰り広げられています。歩行者天国はなくなつたけれども、竹の子族とか、ロックのお兄さん達とか、なかなか目立ちたがりの若者が残っているようです。年の瀬もせまっています。年が暮れ、ここはそういうことを感じさせないところです。

正月の写真になるだろうか、歩道橋は落ちないだろうか（多くの人々がイルミネーションを見るために）と変な心配をしながら撮影をあとに青年部の忘年会へと向かいました。それでは、みなさんいよいよお年を。

私の雑記帳

旅をする楽しみ

「五月雨の降り残してや光堂」松尾芭蕉が「奥の細道」でうたにした中尊寺の金色堂は、見事な仏像や仏像を取り巻く装飾に目を奪われてしまった。また、御朱印帳にも記帳してもらった。思い出すと、昨年は多くの神社、寺院を訪れていた。一月に京都に行った後、成田山、佐渡、樺名神社、水上、鎌倉など。おかげで一冊の御朱印帳が一杯になった。

御朱印のいわれにはついて、比叡山延暦寺の根本中堂でもらった際、はさんであった説明文によると「平安時代より諸国の霊場を巡礼する時、有り難い経文を淨書写経して、それをお寺に納めて、自分や家族の無事息災を祈願した証しに、お寺の宝印（朱印）を戴いて巡礼したことに始まります。だから納経印とも言われております」とのことだ。

旅をするのが好きな私は、人生も旅のように流れていくのだろうと思っている。御朱印帳を持って、今年も沢山出かけてみたい。

一九九七年 冬

（「東腎協」編集委員）

新しい年が明けた。二日から四日にかけて京都、奈良へ出かけ、今年もいい年でありませうようにと、くどいほどお願いをしたのできつといいことがあるだろうと思う。

願いごとをひとつだけ叶えてくれる鈴虫寺へも行った。住職が言うには、「二日には相当混んで一時間半も人が並んだという。願いごとを叶えてくれるのは、わらじを履いたお地藏さん。住所と名前

を言ってお願いをする。

それにしても医療福祉をめぐる状況は厳しい。健康保険本人二割負担や薬代半額負担など、今までにない大改悪案がのさばって肩を切って歩いている。その上、消費税の5%の値上げ。庶民をバカにしている。

交通事故に合う

自分自身の昨年のことを振り返ってみればいろいろなことがあつた。

十二月の初旬、旅行の下見

で北陸から東北へ出かけた際、事故があったのが最大のものであろう。「トネルを抜けたら雪国だった」の通り、車で関

越自動車道を走り、関越トンネルを抜けたら大雪。チェーンを付けて走り始めた直後、スリップして中央分離帯に衝突、そのままノロノロと百五十m進み、再び中央分離帯に衝突してやっと止まったのだった。その数秒間、乗っていた私には一体何が起ったのかわからなかった。後ろから走っている車はなくて、事故はそれ以上拡大されなくて済んだ。

車に乗っていた五人は、幸いケガもなく車のみ走れなくなってしまった。その後、三日間の下見は、列車とレンタカーを使い、雪の中の最上川を舟で下り、宮沢賢治記念館、平泉中尊寺を巡っては予定通り行った。

事故に合つて、人間の命なんてあつけない失う場合もあるだろうと思つた。



歴史の重みを感じさせる薬師寺東塔

大きく後退する医療保険制度

医療を守るために新たな団結を！

私たちの医療に大きな影響のある医療保険各法が、一月二十五日に招集される第百四十回通常国会に提出され審議が行われる予定です。

医療保険各法の中で特に医療保険制度は、「改革」と称し過去にない改悪案となりました。

これらの制度が実施されると、保険給付の引下げ、保険料の引上げ、薬剤の自己負担の強化など大幅に患者の負担が増えます。

昭和五十九年の健保本人一割負担、平成六年の入院給食費の一部負担、近年の保険料の引上げなど確実に患者の負担が増加しています。多くの透析患者が医療費の負担無く受けられている医療制度が根底から崩れようとしています。

都内在住の透析患者は、現在「心身障害者医療費助成制度」(マル身障、「特定疾病」(マル都)などの制度により自己負担無く透析治療を受けています。そのために、医療保険制度「改革」に、無関心

な患者も少なくありません。しかし、これらの法案が実施され、都の財政負担が多くなれば現在と変わり無く自己負担のない透析医療が継続して受けられるかは予断を許しません。

東腎協では、全腎協と協力し、この医療保険制度「改革」に強く反対し運動を進めていきます。

会員一人一人が自分の問題として、自分自身がどの医療保険を使っているか改めて考えてみてください。そして、現在の大変厳しい状況を認識し、今回の医療保険制度「改革」阻止への取り組みを東腎協役員だけの活動ではなく、東腎協会員全体の活動として団結し運動を進めていく必要があります。

この他にも、「臓器移植法案」「介護保険法案」なども現在国会で継続審議中です。東腎協結成二十五周年を迎え、より一層の会員の団結を求めます。(文責・金子)

医療保険制度「改革」後の患者負担 (平成9年度厚生省予算より抜粋)

1. 患者負担の見直し

世代間の公平、給付と負担の公平の観点からの一部負担金の見直し

| | | | | |
|-----|------|----------|---|----------|
| ・老人 | 入院 | 710円/日 | → | 1,000円/日 |
| | 低所得者 | 300円/日 | → | 500円/日 |
| | | (2か月限度) | | (期限なし) |
| | 外来 | 1,020円/月 | → | 500円/回 |

〔同一保険医療機関において〕
1月のうち4回目まで負担

※見直し後の一部負担金の額は、医療費の伸びに応じてスライドさせる。

| | | | |
|--------|--------------------|---|----|
| ・被用者本人 | 1割 | → | 2割 |
| ・薬剤 | 老人、被用者本人・家族、国保について | | |
| | 1種類につき1日15円の負担 | | |

2. 保険料率の改定

政府管掌健康保険の保険料の引上げ 8.2% → 8.6%

北風が吹き出した医療費

もう無関心ではいられない私達の透析医療

私達東腎協は、来年二十五周年を迎える。記念の総会や記念誌の発刊も予定されている。

のために行動し、今日これだけの透析医療環境が得られたというところは奇跡といっている。福祉へと、世の関心が傾いたことも幸い

写真上、仲間と合唱する会員／写真下、グループディスカッション（個人会員交流会）



しただろうが、「戸は叩かねば開かない」のだ。先人の、「自分も、そして苦しい、という崇高な精神に」生きたい、という崇高な精神こそ、これだけの成果のエネルギであり、これからの患者運動で受け継ぐべき心だと銘記したい。

新聞報道で、医療費・薬剤費の一部自己負担化が既成方針であるがごとく報じられている。

私達の透析医療も、何らかの抑制を強いられる可能性が高い。国も都も、大幅な財政赤字を抱えており、緊縮財源をどこに求めるか、

社絶な綱引きの最中にあるといえる。審議している人間は多分健常者、公共投資部門で削ろうが、社会福祉部門で削ろうが収支均衡すればお役御免になる。

「生命の尊厳」は、いつでも最大限に優遇されるものと思いがあって、大きな失望につながっている。

求める者には、得られる可能性があり、何もしない者にはその可能性すら無い。これが現世の鉄則

会員拡大は要請貫徹の力

組織率五〇％へ、一丸となって頑張ろう

小人数でスタートした「全腎協」の患者会員が、「死」を堵して厚生省前に座り込んだ必死の日々を思い浮かべるがいい。明日の希望を掴むために、必死に街頭署名に声を濁らした人々の大半は既に亡い。そして今、私たちは世の中に認知された存在として、言い換えれば彼等の成果を享受した形で、平穏な透析医療を当然な事として受けている。

二十五周年を期して、「一つの決心」を「一大運動」に高めるべく立案中である。現在会員六千二百名、会員加入率四〇％。これが現在の東腎協の力である。医療行政に訴え、実現せしめる力としてギリギリの組織率で、患者急増の昨今、三〇％台陥落は目の前だ。

東腎協（＝全腎協）の歴史はおろか、存在すら知らない患者が六〇％いるということだ。無関心は「敵」を合言葉に、この一大運動を成功させようではないか。

（会員拡大委員・小田原庸吉）

医療・生活情報あれこれ

CAPDも腎不全治療の一つの選択肢

腎臓が不全に陥って生命が維持できなくなった場合、三つの選択肢があるといわれています。血液透析とCAPD(Continuous:連続的

にAmbulatory:携帯可能なPeritoneal:腹膜・Dialysis:透析)、腎臓移植の三つの道です。日本においては血液透析が大部分を占め、移植は法案の国会での経緯を見て

もわかるように社会に定着する第一歩もなかなか踏みだせません。今回は、もう一つの道であるCAPDへ目を向けてみました。透析導入時にこの三つの選択肢の説明を受けた患者は少なく、会員のなかにはCAPDを知らない方も

いるかもしれません。十一月二十六日に、かねてからCAPDに経験の深いとうかがっていた貴友会王子病院腎臓内科人工腎臓室長・順天堂大学医学部腎臓内科客員助教の窪田実先生をお訪ねし、やさしい、よくわかるお話をいた

きました。

なぜ日本ではCAPDが普及しないのでしょうか。(透析患者の約五%)

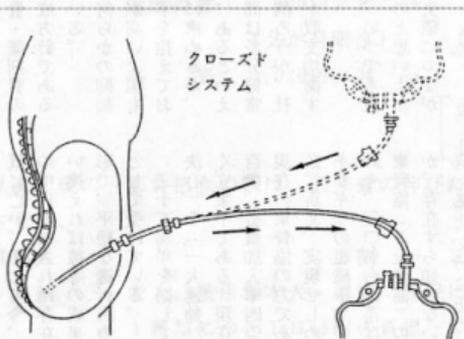
現在では腹膜炎の発症の頻度は六年に一回となっているが初期においてはよく発症したので、契機にくかったのと、医師の側に血液透析、CAPD、腎臓移植の三つについてバイアスのない(偏りのない)説明をできる人が少ない、また保険点数が血液透析が一部包括化される前は低かったという点があるのではないのでしょうか。CAPDには利点があるので、患者に対して、三つの治療法の利点とマイナス点を納得できるように説明できなければいけないのです。

そのメリット(利点)とマイナス点はどのようなものでしょうか

まずCAPDはど

こでも、だれでも、自分で、できるということですが(自立心を持った患者さんなら)。一日四回の液交換でよいわけですから、これは社会復帰に適しています。

そして純医学的には、持続的透析なので循環器系に負担がかからない、食事に自由性がある、水の制限はあるが、喉があまり乾かない、抗凝固剤を使わなくてよい、血圧・貧血が改善される、通院も月一回でよい、尿量も維持できます。子供さんなどにはシャントを作らなくてよいから負担が少ない、発育成長によいなどの利点があります。



CAPDシステム

「92CAPDと共に生きる」監修厚生省健康政策局・日本医師会より

「ちよつとチエック」医療生活情報あれこれ」では、会員からの質問や情報をお待ちしています。
東腎協編集部

す。寿命とは透析液中の糖を吸収しているうちに腹膜の中皮細胞が剥がれてしまい、腹膜が硬化して水がひけなくなるのです。腹膜炎については、バッグ交換ツールの進歩（インジニキップなど）によって清潔にできるようになり、防げるようになったのでそんなに心配はいりません。クロスドシステムの交換が可能です（図参照）。

CAPDの将来についてお聞かせください。

サイクラ（夜間自動透析機…まだ全体の2〜3割、寝ている間に頻回の液交換をし、昼間は腹腔内に液を貯留しない）で代表されるオートメイトイド腹膜透析APDが進歩して来るでしょう。体



説明する厩田実先生

格の大きな方、尿の出ない方には、夜間サイクラで液を交換し、日中は貯留しておく方法もあり、どなたでもAPDができます。また透析液については低カルシウム液（副甲状腺機能亢進症による）、アミノ酸透析液、重曹透析液、もうヨロロッパでは使用されていますが、吸収されない糖ポリグルコースが開発され腹膜機能を保つようになっています。

最近、若い医師たちがCAPDを勉強しはじめています。バクスター社の講座には講義料を払っても聞かされる熱心な医師が増加しています。またCAPDは医師が一人でみられる患者数は十人程度で、ナースの協力がなければ続行が不可能で、ナースにも知識が必要です。ナースカレッジという勉強会は初級、中級、上級と開催されており、ナースの参加があります。CAPDの将来は明るいと言えましょう。

取材 小脇
文責・カメラ 木村

CAPDを二年半継続して、 腹膜炎発症経験の無い

田崎 仁巳さん

同じ日の夕方、目白駅前で田崎さんと待合せ、貴重なCAPDの当事者としてのお話をうかがいました。田崎さんはCAPD友の会の副会長を務められています。その会は主に順天堂大学のCAPD患者を中心に組織されていますが希望によって他病院の患者も加入しています。今は前記の窪田先生の貴友会王子病院に月一回通院して注射ということですが、

田崎さんは右足が不自由ですが、持ち前の根性で二重の障害を克服されています。「Wの決意」・三六四―二〇一という著作があります。なお、体験によると葛西臨海水族館と東京デイズニールンで液交換ができたそうです。

田崎さんは「自分は、ラッキーだった。会社の医務室が大規模な健康施設として整備されていて、腎臓に詳しい大学病院の医師の診察を受け、血液透析とCAPDの違いについて説明してもらえた。そこから自分でいろいろ勉強して、判断しCAPDを選択することができた。会社の理解により液交換の場所もあり、社会復帰もできた。しかし、医師の認識不足によって、イン



CAPDで頑張る田崎仁巳さん

私のふるさと

20

長野県小諸市

あけぼの友の会（町田市） 尾沼 敬三

私のふるさととは、長野県北佐久郡大里村菱平。現在は、小諸市菱野である。小諸市は昭和二十九年四月小諸町、川辺村、北大井村、三岡村、大里村等が合併して市となった。大分昔のことであるが、北佐久郡大里村という名は強く記憶に残っている。



同僚と小諸・懐古園で（右から二人目が尾沼さん）

地理的には、北に浅間山（二五四二m）、黒斑山（くろふ、二四〇五m）、高峰山（二一〇五m）、三方ヶ峰と右からきれいに並んでいる景観はすばらしい。南にはお腕を被せたような菱科山（二五三〇m）、左に八ヶ岳がある。場所によって天気の良い日は、八ヶ岳の稜線の左奥の方面に富士山を小さく拝むことができる。菱野は地図で見ると上信越高原国立公園の線に少し掛かっているようである。

川の流れば千曲川がある。南佐久郡の川上村上流を水源として、北に向かって少しづつ水量を増して小諸を通り上田、長野郊外を下り、新潟に入り信濃川となる。

交通は、信越本線が高崎、軽井沢方面の東から西へ、小諸を通り上田、長野と北へ向かっている。また、小淵沢と小諸とを結ぶ小海線が南北に走っている。国道もほ

は信越線に沿って一八号線がある。小学校は大里小学校へ通った。子供の足で三〇、四〇分の距離である。学校まで下り坂であり、小学校時代は遊びの思い出で一杯だ。登校は下り坂を利用して「輪っこ」を転がして行く。木の樽の外側に巻いてある竹で編んだ輪をとりはずしたものを使う。棒を持って輪っこをつつき、倒さないように歩いて行く。下りのため小走りになり、場所によっては全速力になる。一回も倒さないうちに学校まで辿り着くと自慢になる。竹の輪の他に、自転車スポークとタイヤを取り外した鉄の輪、または子供用の三輪車のゴムの輪、大きい自転車鉄の輪は面白い。輪の外側の溝に棒を入れて転がして行く。慣れるのにゴツが必要だ。学校まで持ち込むと、他人に見つけられてしまうので、校門の



近くの民家の隅に勝手に預けておく。下校時これを転がして帰る。上り坂で大変だが足腰は強くなった。

次に非常に盛んだったドッチボール、朝一番で登校し、やかに水を汲んで、校庭に水の線を引いて場所とりをする。冬なので校庭一面に霜が下りて真っ白なので、水を撒くことで線ははつきりする。仲間が一人、二人集まってきた。思いっきり暴れて、始業の時間になり教室に入る。冬なのに汗ばんで、頭から湯気が出ている。

話は平成の現在に急に飛びますが、私は、吾ふるさと小諸に、一年に二、三回は帰っている。車の便は非常に良くなり、中央道、関越道どちらを使っても三時間前後で行けるようになった。回窓会、りんご狩、お墓参り、観光（名所、旧跡）一杯、日帰り、同僚といは、友の会の仲間と等いつても、誰とも帰ることで、小さい時の思い出が目前に浮かんでくる。

東京で生活していることにより、ふるさとの良さが理解出来る。今日この頃です。

5分間クッキング

ポテトのチーズ蒸し焼き

ペーコン、玉ねぎ入り

く に たち 桜 会 (会 員 家 族) 広 瀬 ト シ

18

▼材料(二人前)

- ①じゃがいも・大一ヶ
- ②玉ねぎ・中一ヶ
- ③ペーコン・二枚
- ④溶けるチーズ・適量
- ⑤コシヨウとパセリ、油・少々

▼作り方

①じゃがいもは皮を剥き、厚さ五ミリメートルの輪切りにして、水に晒し、水気を切ってザルにあげておく。

(註、時間に余裕のある時はじゃがいもの厚さを一センチメートルくらいにするととってもおいしくい

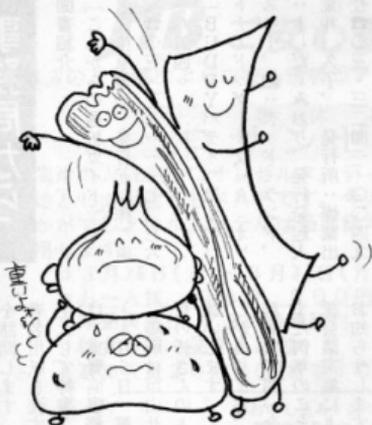
ただけ)

②玉ねぎは皮を剥き、縦半分に切

つてから横向きにして、やは

り五ミリメートルの厚さに切ってお

く。③ペーコンは二センチメートルの幅に切る。



カット 山中知子

④フライパンを温め、適量の油を引き、①のじゃがいもを並べて入れ、その上に②の玉ねぎをかきねて並べ、コシヨウ少々を振ってから③のペーコンを散らし、蓋をして、とろ火で蒸し焼きにする。

火を強くするとじゃがいもが焦げてしまうので注意すること。

⑤じゃがいもに竹串を刺して、スツと通るようになったら、上にチーズを散らして、溶けてきたら火を止め、最後に細かく刻んだパセリを色どりよく、ふりかけて出ま

◇栄養士から一言

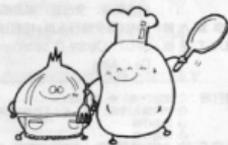
病態栄養研究所

八木 由紀子

☆ポテトのチーズ蒸し焼き、

ペーコン、玉ねぎ入り

じゃがいもは肉や油と良く合う食品で、旨みが強く、おでんや味噌汁に入れると汁の味を良くすることと知られております。もちろん、この料理のように野菜とペーコン、チーズと重ねても旨味成分は引き出されます。ペーコンの塩味と玉ねぎの甘みの調合は調味料いらずとなり合理的料理と言えますでしょう。



チーズの特徴として、必須アミノ酸のメチオニンも多く含まれ、洋酒、ワイン等の飲み過ぎによる肝機能の過労を和らげる効果があるとされており。

パセリは、生野菜の中では水分が比較的少なく、特に無機質とビタミンが豊富ですが、一般的には少量を食べるため、栄養的な寄与は少ないですが、この料理のように色どりのために利用するのは適した使用方法と思います。

その他の利用法としては、衣を少しつけて、揚げると、色、香りとも保持され、フライ等の付け合わせに最適です。(低温で揚げるのがコツ)

茎の部分は硬いので、スープの風味づけに使うとよいでしょう。

事務局から

☆図書紹介

①「これからの透析ガイド」

(著) 椿原美治 発行元(株)南

江堂 ☎03・3811・7236

¥1850

②「BUDDYバディ」はくのパ

ートナードック・文・A・オソ

フスキー、絵・テッド・ランド、

訳・よしだ みおり、発行発起人

・荒井 久子、発行所・煤業出

版社 ☎03・3341・0049

FAX ☎03・3341・2269

¥1500

【ご寄付お礼】

扶桑薬品工業様、彦田忠義様、

丹伏伸浩様、里子志都子様

貴重なお寄付は会活動のため有

効に使用させていただきます。あ

りがとうございました。(期間九

月十八日～十二月二十六日)

【今後の主な活動】

・2月23日 第38回幹事会

場所は三田の障害者福祉会館で

す。幹事でなくてもオブザーバー

でどなたでも出席できます。東腎

協事務局までお申込ください。

・3月27日 国会請願行動

国会の中に入って、議員の部屋を訪問します(留守が多く秘書に署名用紙を渡すこととなりますが主として幹事さんで参加希望の方は)東腎協事務局まで。

・4月6日 第25回総会

場所は戸山サンライズです。会

員の皆さんのふるつての参加をお

願いたします。二十五周年記念の催

しがあります。詳しくは東腎協事

務局まで問い合わせてください。

また例年のことですが、三月には

総会議案集によって詳しい内容を

お知らせします。

編集後記

思いもかけず竹田会長が逝去され、新年早々から追悼文を掲載することにいたしました。故

竹田会長は本当に気安く話のでき

るお人柄で、会員からも慕われて

いました。私が事務局専従になる

ときにも、わざわざ私が透析を受

けている病院近くの喫茶店におみ

えになり話をしてくれました。志

がお有りだったのでしようか、献

体され、葬儀などがないので、寂

しく感じます。心からご冥福をお

祈りいたします。

(木村)

人工透析海外旅行のご案内

平素はいろいろご愛顧賜りまして誠にありがとうございます。'96年よりスタートしました「人工透析海外旅行」も皆様のご協力のお陰を持ちまして、白回目のハワイまで多数のご参加をいただきました。そこで、下記に1997年上半期の旅行の予定をご案内させていただきます。全行程、添乗員同行でお世話を致しますので安心してご参加頂けます。(詳細は各コース1ヶ月半～2ヶ月間となります。お早めにお申し込みください)

④期 あこがれの街シリーズ パリ7日間

- ご旅行期間: 4月14日㈫～4月20日㈩
- ご旅行代金: おひとり様 **298,000円**
(朝食5回、昼食1回、夕食1回付)
(但し、機内食は含まず/送迎費用別)
- ご利用予定: コンコルドラファファイアット
(2人一室利用)又は同等クラス
- 利用航空会社: エールフランス、ルフトハンザ、日本航空、全日空、英通航空 等
- 乗 乗 人 員: 20名(最少催行人員:15名)先着順
- 人工透析: SFDT/Centre D'hemodialyse De L'Alma
- 日程: ① 成田(午前) → パリ(夜)
② 市内観光(午後) 夜: ★人工透析(送迎費用)
③ 自由行動
④ 自由行動
⑤ 自由行動 夜: ★人工透析(送迎費用)
⑥ パリ(午前) → 成田(午後)

⑤期 カナダの自然満喫! カナディアンロッキーとバンクーバー7日間

- ご旅行期間: 5月29日㈫～6月4日㈩
- ご旅行代金: おひとり様 **398,000円**
(朝食5回、昼食3回、夕食3回付)
(但し、機内食は含まず/送迎費用別)
- ご利用予定: バンクーバー・ルネッサンスバンクーバー
ホテル
バンフ: インズ・オブ・オブ・パーク
(2人一室利用)又は同等クラス
- 利用航空会社: 日本航空、カナディアン航空
- 乗 乗 人 員: 20名(最少催行人員:15名)先着順
- 人工透析: セント・ポール・ホスピタル
(ST. PAUL HOSPITAL)
- 日程: ① 成田(夕前) → バンクーバー(午前)
② 自由行動 夜: ★人工透析(送迎費用) 市内観光(午後)
③ バンクーバー発 → カルガリー → バンフへ
④ カナディアンロッキー一見学
⑤ カルガリー発 → バンクーバー → ホテルへ
夜: ★人工透析(送迎費用)
⑥ バンクーバー発(午後) → 成田(午後)

⑥期 リフレッシュハワイ6日間

- ご旅行期間: 3月11日㈫～3月16日㈩
- ご旅行代金: おひとり様 **190,000円**
(朝食4回、昼食1回、夕食0回付)
(但し、機内食は含まず/送迎費用別)
- ※詳しくは、パンフレットをご請求下さい。

----- 遠方よりご参加の方へ -----
成田までのJAL 国内線の予約も承っております。又、人数がまとまらなかった場合は東京発、羽田空港より前の着が一様致します。

資料請求・お申込・お問合せ先

◎ 近畿日本ツーリスト 株式会社
横浜支店 旅行販売部

〒231 横浜市中区山下町
産業貿易センタービル3F
TEL: 045-671-7191
FAX: 045-671-7197

一般旅行業務取扱主任者: 阿部 航
「人工透析旅行デスク」: 大原・山崎

パンフレットをご請求下さい。

JTB ご安心透析ツアー

皆様方のご愛顧によりご安心透析ツアーも29回目を迎えることができました。

春休みに行く ロサンゼルス6日間

西海岸の人気都市ロサンゼルス。ディズニーランドやグランドキャニオン観光の基地として足回りもベストです。今人気のアウトレットショッピングツアーもいかがでしょうか。ホテルは最高級ホテルのインターコンチネンタルホテルを利用します。

- 3月26日(水)～3月31日(月)
- お一人様 190,000円
- 添乗員同行 ○ 透析時通訳付
- 朝食4回, 昼食2回付
- 募集人員20名様(透析者10名様)

ゴールデンウィークに行く
ハワイ6日間
どうぞお問合せ下さい。

●お申し込み・お問合せは●
運輸大臣登録旅行業第64号

主催: **JTB東京三田支店**

〒108 東京都港区芝5-9-10 芝多賀ビル5F

(社)日本旅行業協会会員

営業時間/午前9時30分～午後5時30分(月～金)

TEL:03-5443-1313 FAX:03-3453-9116

一般旅行業務取扱主任者: 飯倉政則 担当: 長谷川・田村・仲佐

ご旅行には海外旅行業者保険をお忘れなく

ジェイエイ傷害火災

JTBグループ

電子レンジで3～4分、
クック&チルドの手料理を
手軽に安心して
お楽しみいただけます。

宅配 透析食

毎週1セット3食～2セット6食分を
クール宅急便でご自宅までお届けい
たします。
お受け取り後は冷蔵庫に保管し、季
節により3～5日以内にお召し上が
りください。

◆1食当たりの主な成分調製点

- 熱量=650kcal以上
- 蛋白質=20g前後
- カリウム=600mg前後
- リン=250mg以下
- 塩分=2g以下
- 水分=350cc前後

3食セットメニュー例

- | | | |
|---|---|--|
| <p>A. 富貴寄せ煮 葱の酢味噌 きんかんの輪煮 ごはん</p> | <p>B. さわらの西京焼き 切干し大根と 薩摩揚げの炒め煮 ポテトグラタン あんずの甘煮 ごはん</p> | <p>C. 和風ハンバーグ 茄子の素揚げ グリーンアスパラ かぼちゃの艶煮 和えもの ごはん</p> |
|---|---|--|

お届け代金

- ★試食……………1セット3食分……………¥3,502
- ★1クール……………4セット12食分……………¥12,772
- ★2クール……………8セット24食分……………¥25,544

注) クール宅急便送料、消費税込
注) 若手県以北、関西以西へのお届けは割増送料となります

お問い合わせ・お申し込みは…

Gerson

TEL.03-3726-9222 FAX.03-3726-9700
有)ゲルソン商会 〒145 東京都大田区石川町 1-20-2-102

ノブは臨床皮膚医学に基づいて あなたのお肌を考えます

— ノブ ボディ&ヘアケア —

昭和四十六年八月七日第三種郵便物認可
S S K A 増刊号二七六三号 毎月六回のP.100日発行
一九九七年一月二十五日発行



かゆみの気になるデリケートでかさつきやすいお肌のために
皮膚科学の臨床データに基づいて研究開発いたしました。
皮膚刺激の原因になりにくい高品質な原料を選び、低刺激性を基本ポリシーとしています。
デリケートなお肌をやさしくいたわりながら清潔に、すこやかに保ちます。

発行所

身体障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

価額一冊



ノブソープD

(特練石鹸)
標準価格
90g 1,000円(税別)



ノブリキッドソープD

300ml 1,800円(税別)



ノブオリゴマリン

(宝珠用保潔口ーション)
200ml 2,000円(税別)
1,000ml 7,000円(税別)
(医薬部外品)



ノブ専用ノブモイスター

(薬用入浴剤)
3袋入り 700円(税別)
10袋入り 3,000円(税別)
(医薬部外品)

NOV
FOR SENSITIVE SKIN

株式会社 ノブ
〒107 東京都港区赤坂7-3-37 プラズスカナダF
☎(03) 3403-1334 FAX (03) 3403-3994

お申込みはフリーダイヤルでどうぞ
(東野値とお申し出下さい)

0120-35-1134

◇受付時間 午前9:00~午後5:00(土・日・祭日を除く)
◇お買上げ金額 6,000円以上は送料無料
◇代金引換にて商品をお届けします。